

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	青果市場管理運営事業			事業番号	015-046
担当部署名	産業振興	局	農政	部	農水産課

I. 基本情報

事業の位置付け





1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(7) 次世代につながる農業の促進	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②持続可能な農業振興			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	有・無	ゴール	ゴール(2)飢餓をゼロに	ターゲット	2.3,2.4		
		有	取組	地産地消の推進				
3	実施根拠 (根拠法令、条例等)	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		
3	事業開始年度	昭和 25 年度		点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市立青果地方卸売市場条例、同条例施行規則						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	直接的には市場内で卸売業務を行っている卸売業者が対象であるが、卸売業者を介して買受人、生産者、小売業者、消費者まで流通経路がつながっており、市民を対象とする。	対象数	817,441		単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	卸売市場の開設者として、市内における生鮮食料品等の流通の円滑化を図り、市民の食生活の安定に資することを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> 卸売市場法及び条例に基づき、市場の運営及び施設の維持管理を行っている。 卸売業者2社に対しては、使用面積と売上高に応じた施設使用料として年間約12,000千円を徴収している。 					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
				目標値	11,759	11,800	11,353
	使用料収入額	千円		実績値	11,351	11,628	
達成率				97%	99%		
当該指標を選定した理由				一定の収入額を確保できなければ、維持管理に支障が発生するため			
	目標値の設定根拠・算出方法	歳入予算額を目標値として設定					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				目標値	13,495	13,000	12,000
	青果取扱量	トン		実績値	12,295	11,471	
達成率				91%	88%		
当該指標を選定した理由				青果取扱量によって施設使用料が増減するため。			
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績を目標値として設定					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	青果市場管理運営事業	事業番号	015-046
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	1,395	867	15,176	2,288	14,704	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 (青果地方卸売市場使用料)	1,395	867	11,802	2,288	11,941
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源			3,374		2,763
14 人件費 (b)	3,320	3,320	3,320	3,320	3,410	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	4,715	4,187	18,496	5,608	18,114	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	普通旅費	R4 決算	0	建築物耐震診断業務	R4	決算	0	0
		R5 予算	20		R5	予算	1,000	0
	需用費	R4 決算	1,226	屋根改修工事	R4	決算	0	0
		R5 予算	1,108		R5	予算	2,500	0
	通信運搬費	R4 決算	34	ブロック塀耐震改修工事	R4	決算	946	0
		R5 予算	35		R5	予算	0	0
消火器点検委託料	R4 決算	27	ブロック塀耐震補強工事	R4	決算	0	0	
	R5 予算	41		R5	予算	10,000	2,763	
施設法定定期点検業務	R4 決算	55		R4	決算			
	R5 予算	0		R5	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		① 青果取扱量	トン
② 上記①にかかる年間経費	千円	4,187	5,608
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	341	489
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>事業費は昨年度に比べて微増ではあるが、卸売市場の開設者として市場の機能を円滑に果たすことができるよう、卸売業者2社に対する施設使用料収入額内で施設の適切な維持管理を行った。</p> <p>市民の食生活の安定に資する卸売市場としての役割は達成している。</p> <p>青果取扱量の減少は、新型コロナウイルス感染症及び、流通経路の多様化や気候等の影響に起因するものと考えている。</p>
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>地域に根差した都市農業の振興に向けて、一定寄与はしているものの、青果市場が公設である必要性は乏しく、民営によっても青果の安定供給の機能は維持できる。</p>
----	---